

日本の民主化と独立

①

ver. 8

教科書 ページ 242 ~ 249

ワーク ページ 34 ~ 39

戦後の日本と世界

○GHQ

戦後に日本の民主化を進めた組織

(連合国軍最高司令官総司令部) 最高司令官は◎マッカーサー

◎極東国際軍事裁判(東京裁判) 戦犯をさばいた裁判

日本は植民地をすべて失う 沖縄などはアメリカが統治

◎北方領土(国後・択捉・歯舞・色丹島)はソ連が占拠

◎○国際連合

二度の世界大戦の反省からつくられた国際組織

安全保障理事会 世界の平和と安全を維持するための機関

民主化政策

政治

治安維持法廃止

政治活動、言論や出版の自由が認められる

選挙法改正

満20歳以上の男女に選挙権があたえられる

経済

◎財閥解体

三井・三菱・住友・安田などの財閥が解体される

◎農地改革

政府が地主から強制的に土地を買い上げる

小作人に安く売る→自作農の増加

教育

◎○教育基本法

義務教育・男女共学など

社会

労働組合法

団結権を認める

○労働基準法

労働条件の最低条件などを定める

日本国憲法

○日本国憲法

国民主権

大日本帝国憲法は主権は天皇

天皇は

臣民の権利として法律の範囲内に制限

国と国民統合の『象徴』に

◎基本的人権の尊重

平和主義

戦争を放棄 戦力の不保持

民法

個人の尊厳と男女の平等

家制度の廃止

地方自治法

首長と議員の公選

地方公共団体の組織や運営

アジアへの冷戦の影響

中華人民共和国

○毛沢東の共産党と蒋介石の国民党が内戦

共産党の勝利

→◎中華人民共和国

国民党側

→台湾

朝鮮

北緯38度線を境に◎○朝鮮戦争が起こる

北側は中国の支援

→朝鮮民主主義人民共和国

南側はアメリカの支援

→◎大韓民国

人間宣言

○天皇は神ではなく

人間だと宣言

日本の民主化と独立

②

ver. 8

教科書 ページ 242 ~ 249

ワーク ページ 34 ~ 39

東西の対立

◎冷戦

アメリカ（西）側とソ連（東）側の対立
世界各地でこの対立により分断が起こる

○ワルシャワ条約機構

ソ連側（東側）

○北大西洋条約機構

アメリカ側（西側）

(NATO)

日本はアメリカなど48ヶ国と

◎○サンフランシスコ平和条約を結ぶ

同時に、◎○日米安全保障条約も結ぶ

日本はアメリカ側として

①朝鮮戦争の物資をアメリカに売る → ◎特需景気で日本が好景気

②アメリカの指示で、○警察予備隊をつくる → (保安隊) → ◎○自衛隊(現在)

ドイツの◎ベルリン

朝鮮半島

ベトナム

などが分断される

その他

◎南北問題

南半球の紛争や飢餓に苦しむ国々と

北半球の先進工業国との間にある経済格差の問題

◎55年体制

1955年に結成した自由民主党が、38年間にわたり政権を取り続けたこと

◎安保闘争

日米安全保障条約の改定に対して起こった激しい反対運動

Blank lined area for notes.